

第 1 回課題調査部会における意見整理

目標の設定

注目度の高い小杉地域から区全体のイメージアップを発信。日本一などわかりやすく、インパクトがある、多様な区民が取り組める目標が必要だ。何か良い指標がないか。まちを自慢できるものなど。(井上委員)

区民会議としてのメッセージを発信し、仕組みとして継続されるものを目指す。(萩原委員)

活動の上での共通の目標があると良い。私たちの活動では「路上喫煙防止重点区域の指定」だった。(塚本委員)

町会・自治会では明確な目標の下で取組が可能。子ども神輿の購入を目標にして取り組んでいる。(松本委員)

ターゲット

早朝清掃活動に地域の不動産やコンビニ、企業が参加するようになった。子どもが参加すると大人も参加するようになる。(塚本委員)

第一ターゲットは、個人よりも町内会。そこから子ども会や老人会、学校やPTAなどにも浸透させる。(仁上委員)

地域やイベントに参加しない人たちへのアプローチ方法が課題。特に単身の若い世代など。(井上委員)

集積所のルールを守らない方は誰か、なぜ守らないのかを解決しなければ、本当の解決にはならない。(井上委員)

課題

学校で盛んな環境教育と地域をつなげる取組。子どもたちが学んだことを地域に持ち帰り、地域で大人と共有・実践する。参観日など狙う。(松本委員・成田委員)

集積所のマナーや環境改善。ごみを分別排出しやすくみづくり。(井上委員・中森委員・仁上委員・松本委員)

まちをきれいにするためにできること(放置自転車対策や花壇の普及活動など)をやる。(萩原委員)

高齢者・障がい者・外国籍市民などごみ出しが難しい人、分別などが理解できない人もいる。(成田委員・中森委員)

地域の課題に自ら取り組んでいく方向への意識改革。マンション住民などには地域への意識が低い人も多い。(井上委員・塚本委員)

既存の市民活動の知名度向上・PR (萩原委員)

再資源化のしくみや効果、分別法の広報強化 (仁上委員)

既存の取組・新たな取組→発展・強化

廃棄物減量指導員による分別指導 (松本委員)

フロンターレ起用の広報資料 (井上委員・中森委員)

町会によるフリーマーケット (松本委員)

「フロンターレで毎日元気いっぱい!! 推進事業」
「正しい生活リズム」人形劇を保育園やなかはら子ども未来フェスタで実演 (井上委員・成田委員)

不動産と連携した情報発信。入居時等を捉える。地域を一番宣伝してくれる不動産。(井上委員・仁上委員)

アンケート調査で活動団体や企業等の活動内容や現場の課題を聴取。(萩原委員)

「CG等々力 エコ暮らしこフェア」フロンターレ試合会場周辺でエコ体験イベント。(井上委員)

3R 推進キャンペーン。川崎純情小町☆の活用。(萩原委員)

転入者に向けた広報強化。Web 情報等の充実。(萩原委員・塚本委員)

集積所再配置による環境改善 (松本委員)

フロンターレ後援会のネットワークを活かした周知・広報 (井上委員)

活動情報の冊子化(親しみやすいもの)、合同勉強会や団体間等のネットワーク化。(萩原委員)

取組提案検討の方向性(案)

- ①啓発・ルールづくり、意識改革の取組
- ②学校と地域、環境教育の取組
- ③イベント・キャンペーン・周知の取組